

## 会報・案内

### 平成14年度第5回理事会議事録

日 時：平成14年7月1日(月)14:00～17:00  
 場 所：学士会館赤門分館3号室  
 出席者：石垣武男, 板井悠二, 遠藤啓吾, 隈崎達夫  
 久保敦司, 小西淳二, 田村正三, 中村仁信  
 西谷 弘, 早瀬尚文, 松井 修, 山田章吾各理事  
 (監事)大友 邦  
 欠 席：杉村和朗,(監事)阿部公彦  
 議 事：  
 1. 前回議事録の承認  
 2. 第62回日本医学放射線学会総会について  
 3. 第38回日本医学放射線学会秋季臨床大会について  
 4. 放射線科専門医修練機関・協力機関新申請 認定および承認の件  
 5. IT問題ワーキンググループの設置  
 6. 国際交流委員会(仮称)の設置  
 7. 常設プログラム委員会の設置の検討  
 8. 会員資格  
 9. 定款変更  
 10. 学会誌  
 11. デジタルマンモグラフィに関する緊急勧告  
 12. 専門医資格認定の広告規制について  
 13. 最高裁判所からの鑑定人依頼  
 14. 放射線診断ガイドライン(案)  
 15. 委員会新委員の承認  
 16. 会告の承認  
 7月号 日本医学放射線学会第15回優秀論文賞について  
 放射線科専門医修練機関認定および協力機関承認  
 について  
 報告事項：  
 1. JRC理事会  
 2. 財政基盤の強化  
 3. 第39回日本医学放射線学会秋季臨床大会大会長の件について  
 4. 放射線科を廻る諸問題  
 5. 委員会報告  
 乳房撮影委員会  
 将来計画委員会  
 電子情報委員会  
 放射線科専門医認定委員会  
 医学物理士認定委員会  
 6. その他  
 議 事：  
 議事に先立ち小西淳二会長より議事進行については板井総務理事が行うことを提案され了承された。

1. 前回議事録(案)を承認した。  
 板井理事より議事録の中の新役員および各委員会委員長名, JRC役員名を学会会告に掲載してはどうかとの提案が出され了承された。  
 2. 第62回日本医学放射線学会総会について  
 小西会長から資料に基づき第62回日本医学放射線学会総会の企画案について説明がなされた。特別講演, 合同企画案, 国際シンポジウム, International session等の準備状況, またUMINへのオンライン登録のシステム登録が終了, 8月1日(木)より登録受付開始(詳しい内容は学会誌6月号会告)等の説明がなされた。  
 3. 第38回日本医学放射線学会秋季臨床大会について  
 渡会大会長より第38回日本医学放射線学会秋季臨床大会の一般演題, 教育展示等の進捗状況, について説明がなされた。  
 4. 放射線科専門医修練機関・協力機関新申請 認定および承認の件  
 既に7月号に掲載された放射線科専門医修練機関・協力機関新申請 認定および承認について  
 担当理事の松井理事より報告がありこれを承認した。  
 5. IT問題ワーキンググループの設置  
 板井総務理事より学会内のIT問題について説明がなされた。電子情報委員会, 広報委員会, 放射線科専門医認定委員会などが中心となり現在活発な活動がなされているが, サーバ管理など抱えている問題に共通点もあり, これらについてワーキンググループを作り一元管理を検討してはどうかとの提案が出され了承された。ワーキンググループ委員として石垣, 西谷, 松井各理事および松永先生を加え費用等も含め検討することとした。  
 6. 国際交流委員会(仮称)の設置  
 板井総務理事より東南アジア放射線医学振興基金の活用も含め国際交流について検討していくために委員会を設置してはどうかとの提案が出された。東南アジアのみならず欧州との関係の密接化など, 国際交流について杉村国際交流担当理事が中心となり検討することが了承された。  
 7. 常設プログラム委員会の設置の検討  
 板井総務理事より教育プログラムや総会の一般演題等に継続性を持たせた方が良いのではないかと意見が出された。総会や秋季大会の過去のデータベース作りは進められているが, どのように継続性を持たせたら良いかは教育講演を中心に, 教育委員会で常設プログラム委員会の設置も含め検討してもらおうこととし, 設置自体は継続審議とした。  
 8. 会員資格  
 今年3月の理事会で検討されていた医師以外の方の入会について再度検討を行った結果, 入会を承認することとした。  
 9. 定款変更  
 前期理事会から審議され送り事項であった件について板井総務理事より資料を基に説明がなされた。理事会で検討後8月末

までに改訂案を小西会長，板井総務理事，遠藤庶務理事，隈崎会計担当理事で作成し，8月の理事会で再度詳しく審議を行うこととし継続審議とすることとした。

#### 10. 学会誌

板井総務理事より前期からの申し送り事項と，その後の出版社との話し合い内容について報告がなされた。年間発行数を和文誌6，英文誌6にした場合の広告収入の問題，学会誌郵送の問題，電子ジャーナルの問題，学会誌契約の見直し，投稿論文を増やすため専門医試験の受験資格に投稿論文を加える(これについては専門医認定委員会で検討する)などを含め検討が必要なので，継続審議とすることとした。

出版社との交渉は板井総務理事，久保編集担当理事，が中心となり行うことを確認した。

#### 11. デジタルマンモグラフィに関する緊急勧告

石垣担当理事よりデジタルマンモグラフィに関する基準の問題について報告がなされた。これを日医放会誌巻末に掲載することが了承された。

#### 12. 専門医資格認定の広告規制について

6月19日に厚生労働省に関係書類を提出，不足書類について説明がなされた。理事会で検討後，学会ホームページへの会員名の表示 専門医名の表示 学会機構図 過去の合格者数の追加資料提出について了承された。また65歳以上の専門医更新に関する件は専門医認定委員会で検討することとした。

#### 13. 最高裁判所からの鑑定人依頼

最高裁判所医事関係訴訟委員会から鑑定人依頼のあった件について板井総務理事より説明がなされた。理事会で検討後，学会として引き受ける方向で板井総務理事に一任することとした。

#### 14. 放射線診断ガイドライン(案)

遠藤庶務理事から資料を基に説明がなされた。ガイドラインの内容，学会のかかわり等について健保委員会，教育委員会でチェックして頂くこととし，継続審議とすることとした。

#### 15. 委員会新委員の承認

平成14，15年度の委員として将来計画委員会，乳房撮影委員会，医学物理士認定委員会，放射線科専門医認定委員会(平成14年9月1日から)から委員名簿が出され承認された。

#### 16. 会告の承認

7月号 日本医学放射線学会第15回優秀論文賞について  
放射線科専門医修練機関認定および協力機関承認  
について

#### 17. その他

1)メーリングリストについての会告を広報委員会から出して頂くこととした。

2)生物部会から要請のあった担当理事について，山田理事にお願いすることとした。

#### 報告事項：

##### 1. JRC理事会

6月10日に開催されたJRC理事会の報告が板井総務理事よりなされた。

JRSから理事長に隈崎，副理事長に板井，小西各理事，CyberRad委員長に石垣理事が選出された旨の報告がなされた。ま

た，隈崎理事からJRCについて説明がなされた。

##### 2. 財政基盤の強化

学会の財政が赤字の状態であるのでこの解決策の一つに寄附を募りたい旨の報告がなされ，次回具体案を出し審議することとした。

##### 3. 第39回日本医学放射線学会秋季臨床大会大会長の件について

関東地区から昭和大学の宗近宏次先生が推薦された旨の報告がなされた。

##### 4. 放射線科を廻る諸問題

国立大学医学部附属病院長会議から提案された国立大学附属病院の医療提供機能強化を目指したマネジメント改革についての報告がなされた。

##### 5. 委員会報告

乳房撮影委員会

将来計画委員会

電子情報委員会

放射線科専門医認定委員会

医学物理士認定委員会

## 第62回電子情報委員会議事録

日 時：2002年6月23日(日)10:00~12:15

場 所：順天堂大学9号館4階第1会議室

出 席：石垣武男(委員長)，稲邑清也(副委員長)

安藤 裕(副委員長)，煎本正博，江本 豊

越智 誠，紀ノ定保臣，黒田知純，佐々木康夫

島本佳寿広，西谷 弘，森 宣

小寺吉衛(JSRT)，松井美楯(JSRT)

欠 席：大山永昭，木村通男，佐古正雄，澤田 敏

滝沢正臣，三宅秀敏，宮坂和男，倉西 誠(JSRT)

資 料：

(1)第61回議事録

(2)デジタル画像取り扱いに関するガイドライン1.0版

(3)第15回電子情報研究会

(4)画像診断報告書検討小委員会

(5)電子情報委員会規約・委員名簿

(6)CyberRad報告

(7)遠隔画像診断部会プログラム

1. 前回の議事録が修正なく，承認された。

2. デジタル画像取り扱いに関するガイドライン1.1版

委員長より提案されたガイドライン資料(2)について討議した。

新しい部分は，1.0版のものに追加して，1.1版とすることになった。

2.1 CRTモニタ性能

2.2 CRTモニタの劣化 この項目を追加した。

(2)CRTモニタは経年変化し輝度が低下するので，正確な読影診断ができるように留意すること。検出に影響が認められた。(脚注)

(脚注)例えば，入荷時の精度に影響を与える。画像観察CRTモ

ニタの医学的安全基準設定に関する研究による。

(3)モニタの輝度劣化の程度を、毎日チェックすることが望ましい。(注2)

(注2)モニタ劣化を視覚的に認識するには、劣化判定用に作成されたテスト画像(胸部写真とコントラストチャート)の類を使用するのがよい。

テストパターンとして、SMPTE、石垣班の画像(コインリジョン)、小寺先生のパターンなどがある。将来、ホームページ上に公開する。

3. 秋季臨床大会のプログラムについて(報告)

3.1 電子情報研究会 9:30~11:30

パネルディスカッション「IHE-J」画像診断報告書を西谷委員にお願いし、SRについて稲邑委員が講演する。

3.2 合同シンポジウム:遠隔画像診断 14:30~17:30

(第3回遠隔放射線診断部会と共催)

資料(3)をもとに演者・演題について報告があった。

4. 画像診断報告書検討小委員会

稲邑、西谷委員より資料(4)について説明があった。

要求仕様書を作成する方法のガイドラインを1年をめどに作成することにする。

両氏に組織構成を依頼する。画像診断報告書検討部会を行う準備をお願いした。

5. 小委員会報告

安藤: CyberRadについて(資料6)説明があった。テーマ展示、一般講演ともに、来場者数は昨年より増加した。ツアー参加者の9割が良いという評価であった。

医学会総会でのIHEの展示について、副会長の片山先生に石垣先生からお願いすることになった。ビデオを作成したら、電子情報委員会にも配布するように依頼することになった。

6. 委員の交代について

委員長より資料(5)について説明があり、池添、佐古先生が辞意を示されたとの報告があった。新委員として若干名をお願いする予定。委員の交代は、委員長に一任となった。

串楢(横浜西部病院)、尾辻(済生会吹田病院)先生をお願いしたい。

7. その他

(1)専門医試験問題作成サーバーの移転、(2)学会のIT化、(3)雑誌・構想について自由討論があった。

次回10月24日(木) 秋季臨床大会(秋田)を予定

議題: 第4回遠隔画像診断部会

画像診断報告書検討小委員会の報告

CyberRad2003の準備状況

平成14年度第2回広報委員会議事録

日時: 2002年7月12日(金) 14:00~17:00

場所: 赤門学士会館3号室

出席: 西谷 弘(担当理事・委員長),

石垣武男(担当理事), 安藤 裕(副委員長)

岡田 進(副委員長), 横倉稔明, 本田憲業

山下 孝, 尾川浩一, 村山貞之, 野崎美和子

江本 豊, 松本 恒, 神立 進, 事務局: 鈴木

欠席: 中村健治, 煎本正博, 山田章吾,

ウッドハムス玲子, 吉岡哲也

1. 前回議事録案を承認した。

日時を入れる

ホームページ「会告:」をとるを修正して承認

確認事項:

ホームページをメディカルトリビューンが扱う件を理事会で検討をお願いする。

広報誌: 名称は「レジオロジイ」とした。

広報ポスターについて、著作権の再確認のため出典を調べる(事務局で)。

2. 広報誌(患者向け)の進捗状況の報告

製薬会社に広告料をお願いする予定。その費用で印刷費用をまかなう。

費用の見積り 数十万円/1000部 程度。原稿を依頼中。A4で8ページを予定。

次回の広報委員会にグラを準備予定。

検討事項:

製薬会社の広告を検討中。1回目はT製薬の広告をお願いする予定。

発行部数, 配布先, 配布方法について

発行1万部~10万部

診療待合室で患者が持ち帰るように(広報誌にも明示する)

CTなどがある病院に配布する。配布は製薬会社のMRをお願いする。

発行は日本医学放射線学会広報委員会で、著作権は日本医学放射線学会。

PDFファイルにしてwebからダウンロードできるようにする。

次回以降は、スポンサー(広告元)を複数社にして、持ち回りとする。

1年1回程度の発行を目指す。

原稿はweb page, メーリングリストなどで募る。

・年輪のCT, 恐竜のCT

・ぶどうやワインの3D-CT

・人体の画像: 診療データは承諾があるか?

・表紙は目に付きやすい画像がよい

3. opinionメーリングリスト

メーリングリストであることが分かるように、本文のはじめに以下のような注意書きを追加する。

ご注意

このメールは、放射線学会 広報委員会が運営している学会員の意見発言用のメーリングリストです。このメールに返事を出しますと、登録されている方々約1,500名に配送されます。このメーリングリストの詳細は、下記を参照下さい。

参照先: <http://www.radiology.or.jp/opinion/opinion.htm>

メールでの反応はすべて継続を希望しており、特に反対意見がな

いようなので、opinionメーリングリストを継続することにした。

メンバーの登録について

メンバーの意思によって登録することが大切

オピニオンメーリングリストは、モデレータなしのメーリングリストにする。

1. メールマガジン(返信の要らないもの)
2. モデレータなし(返信など議論をするもの)

の2本立てでメーリングリストを運用する

現在のオピニオンメーリングリストは、8月25日まで現在のまま継続し、8月25日から正式に発足する。正式発足時は、学会員に自分でオピニオンメーリングリストに登録してもらう。

将来は、broadcastメーリングリストに会員からのメールを受け付けるようにする。

モデレータを持ち回りにする。8月25日までは岡田、中村、江本で行う。

4. web page

英語版のホームページを松本先生、神立先生、ウッドハムス先生にお願いする。

また、この3人は広報委員に加えることにした。

総会の演題募集に間に合うように、7月末を目標に英語ページを整備。

英語の情報内容は

総会、大会の情報

機器展示

演題応募

入会の情報

ホームページのあり方

編集を外部委託するために業者の見積りをお願いする。学会の事情に精通した業者が望ましい。煎本が見積もり参加業者と交渉する。ページ編集のアカウントを西谷先生、安藤先生、鈴木さん発行する

5. オンラインジャーナル

メディカルトリビューンで試行中。学会のweb pageからリンクする。

6. 各委員会メーリングリスト

各委員会の更新ができていないので、事務局から新しいリストをもらい、更新することになった。

7. IT化ワーキンググループ

IT化ワーキンググループを以下の3委員会からメンバーを選んで行うとの報告があった。

(1)電子情報委員会、(2)広報委員会、(3)専門医認定委員会

次回 日時未定(秋季臨床大会に)

議題：広報誌の発行

opinionメーリングリスト

その他

## 第55回(平成14年度第2回) 医学物理士認定委員会議事録

日時：2002年8月10日(土)、15:00~17:00

場所：学士会館赤門分館3号室

出席：今村恵子(委員長)、山田章吾(担当理事)

岩波 茂、小泉 潔、駒谷昭夫、佐方周防

佐々木武仁、田中良明、原田康雄、福村明史

丸橋 晃各委員、遠藤真広(オブザーバ)

欠席：秋山芳久、内田 勲、河野 敦、齋藤秀敏

白 博樹、広川 裕各委員

1. 第16回医学物理士認定試験について

(1)受験資格認定の申込者11名について資格を審査し、全員が認定された。

(2)試験問題作成および問題チェックの担当を決定した。

2. 医学物理学講習会について

医学物理士認定試験受験者のための標記の講習会(日本医学物理学学会、医学物理士会主催)は本委員会委員の協力を得て行われるが、その日程(8月22~24日)、プログラム、場所が佐方委員から報告された。

3. 業績評価単位について

現行の業績単位の見直しと新規登録について2、3項目の提案があったが、放射線科専門医の単位規定も参照しながら全体を見直し、案を作成することになった(担当は佐方、原田、駒谷各委員)。

4. 医学物理士認定制度について

受験資格を緩和する方向で提案があり、検討を行った。会員資格とかわることであり、本委員会案を作成し日本医学放射線学会理事会で山田担当理事が提案することになった。

5. 医学物理士のためのガイドラインについて

(1)放射線防護、「放射線関連法規・勸告」について法令改正に伴うガイドライン改訂案(日本医学物理学学会放射線防護委員会の暫定案)が示され、本年の医学物理学講習会ではそのガイドラインにそって実施することが了承された(岩波委員より)。

(2)医学物理士のためのガイドラインについて(日本医学放射線学会医学物理士認定委員会監修協力、日本医学物理学学会発行)は1993年に改訂版が発行されて既に9年経過し、根本的に見直す必要が指摘された。根本的な改正を日本医学物理学学会医学物理士対策委員会に依頼する。

6. 次回は、10月12日(土)、認定試験のあと学士会館赤門分館にて開催される。